

TestRail Redmine欠陥プラグイン（カスタムフィールド対応版）

- 更新日：2023年7月11日
- プラグインバージョン：1.6

更新履歴

- 2021/01/25：
 - キーバリューストに対応しました。
 - リストおよびキーバリューストが複数選択の場合、multi=trueにて指定するよう変更しました。
 - **バージョン1.3をお使いの場合、本バージョンでは設定方法が変更されていますのでご注意ください。**
- 2021/10/19：
 - マニュアルリンク修正
- 2023/07/11：
 - 8.0.0を動作環境に追加

環境

- 以下のバージョンにて動作確認済です。
 - TestRail: 7.0.1.1015, 8.0.0.1086
 - Redmine: 3.4.10.stable, 4.0.0.stable

概要

- TestRailからRedmineのチケットを起票する際に、カスタムフィールドを利用可能にします。
- TestRailのテスト結果の登録画面から、プッシュする際に動作します。

注意事項

Redmineのカスタムフィールドの取得

- カスタムフィールドの情報取得(/custom_fields)には、Redmineの管理者権限が必要です。
- 本スクリプトでは以下の処理を実装しており、一般ユーザーでも利用可能としていますが、制限事項があります。
 - 管理者権限を持つユーザーがチケットをプッシュする際
 - Redmineからカスタムフィールドの情報を取得し、同時にTestRailサーバー内にファイルで保管します。
 - 一般ユーザーがプッシュする際
 - Redmineへのカスタムフィールド取得APIが失敗します。
 - 既にサーバー内にカスタムフィールドのファイルが存在する場合はそのファイルの内容を用いてプッシュします。
 - サーバー内にカスタムフィールドの情報が保持されていない場合は失敗します。
- 制限事項
 - 一般ユーザーがRedmineのチケット登録に失敗するケースがあります。
 - サーバー内にカスタムフィールドの情報を保持したファイルが存在しない場合
 - 例) カスタムプラグインを適用後、管理者権限を持つユーザーが一度もプッシュしていない。
 - Redmineに登録されたチケットでカスタムフィールドの選択が合わない。
 - サーバー内にカスタムフィールドの情報を保持した後にRedmineのカスタムフィールドの情報を編集、一般ユーザーがチケットをプッシュした場合は参照するカスタムフィールドの情報が古いため、最新の設定内容と異なる場合があります。
 - カスタムフィールドでuserを利用した場合、選択したプロジェクトに所属するメンバーのみが選択肢に表示されません。

利用が可能なRedmineのカスタムフィールドの制限

- 対応しているフィールドは以下です。
 - テキスト
 - リスト

- 長いテキスト
- 日付
- 小数、整数 ※テキストとして扱います
- 真偽値
- ユーザー
- キーバリュースト
- リストおよびキーバリューストはRedmine側で複数選択の指定がされている場合は"multi=true"を指定してください。

user/passwordとtokenの同時指定時の優先順位について

- user/passwordとtokenを同時に指定した場合、user/passwordの指定が優先されます。

Redmineにチケットを起票するユーザーをTestRailのアカウントごとに変更するには

- 欠陥プラグインのグローバル設定で、[ユーザー変数](#)を使用します。
- 各アカウントの個人設定にて、ユーザー変数にRedmineのアカウントもしくはtokenを設定します。

利用手順

1. スクリプトの修正

- Redmineのカスタムフィールド情報を一時的に保存するファイルパスはTestRailのログフォルダーが標準で指定されています。必要に応じて、適切な場所書き換えます。
- TestRailが動作しているWebサーバーが書き込み可能な場所である必要があります。

```
$json_filename = LOG_PATH.$sourceUrl['host'].'_Redmine_custom_field.json';
```

2. スクリプトの配置

- 以下の場所にスクリプトを配置します。フォルダが存在しない場合は作成してください。

```
/<testrail-root>/custom/defects
```

3. 連携の設定

Redmineプラグインの選択

- TestRailのプロジェクト個別に連携の設定を行う場合は、TestRailからプロジェクトを開き、画面右上の[編集]ボタンから、[欠陥]タブを開きます。
 - TestRail上のすべてのプロジェクトで同じ設定を使う場合は、[管理] > [統合] の[欠陥]タブから設定を行います。
- まず、[欠陥プラグイン]のプルダウンから **Redmine_customfield** を選択してください。

表示/追加URLの設定

- 欠陥表示URL : `http:///issues/%id%`
- 欠陥追加URL : `http:///projects//issues/new`

プラグインの設定

```
[connection]
address=http://<your-server>/
user=%redmine_user%
password=%redmine_password%
token=api_token

[custom_field]
fields= [{"type":"string", "label": "カスタムフィールド", "fid": 9, "required": "false" }]
```

- [connection]では、接続するRedmineのURLやユーザー、パスワードを指定します。
 - パスワードをマスクする方法については、[ユーザー変数](#)を参照ください。
 - ユーザー、パスワードではなく、RedmineのAPIトークンを用いる場合は、user/passwordの行を削除し、tokenのみを指定ください。
- [custom_field]では、プッシュ時に入力するカスタムフィールドを指定します。
 - json形式で指定してください。
 - 構文 : `fields=[{"type":,"label":,"fid":,"required": "<true|false>", "multi": "<true|false>"}, {}]`
 - [カスタムフィールド], {カスタムフィールド}のように、配列として指定してください。
 - 例)
 - `fields= [{"type":"string", "label": "ベロシティ", "fid": 9, "required": "false" }, { "type":"list", "label": "カテゴリ", "fid": 37, "required": "false", "multi":"true"}]`
 - カスタムフィールドでは以下のkeyをすべて指定してください。

- type: フィールドの形式を指定します。以下が利用できます。
 - string: 短いテキスト ※小数や整数もこちらを指定ください。
 - text: 長いテキスト
 - list: プルダウン(単一選択)
 - bool: 真偽値
 - date: 日付
 - user: ユーザー
 - keyvalue: キーバリュースト
- label: チケット登録時に画面に表示する項目名です。日本語の指定が可能です。
- fid: Redmineのカスタムフィールドidを指定します。
- required: 必須入力かどうかをtrue, falseで指定します。
- multi: 複数選択の場合はtrueを指定します。listおよびkeyvalueのみ有効です。

設定の例

- グローバル設定 ([管理] > [統合])

欠陥参照

欠陥表示 URL

http://<my-server>/redmine/issues/%id%

欠陥トラッカーのケースの Web アドレスです。実際のケース ID のプレースホルダーとして %id% を使用します。 [詳細](#)

欠陥追加 URL

http://<my-server>/redmine/issues/new

欠陥トラッカーに新しいケースを追加する際に使用する Web アドレスです。 [詳細](#)

欠陥プラグイン

Redmine_custom ▼ ⚠

TestRail と欠陥トラッカーを統合するためのプラグインです。プラグインの設定は下で行うことができます。 [詳細](#)

```
[connection]
address=http://<my-server>/redmine/
user=%redmine_user%
password=%redmine_password%

[custom_field]
fields= [{"type": "string", "label": "バグシテイ", "fid": 9, "required": "false" }]
```

欠陥トラッカーとセキュアな接続を行うために、HTTPS を使用してください。ユーザーおよびパスワードを安全に保存するため、ユーザー変数を使用することが推奨されます (ユーザーごとにログインをカスタマイズするのにも使用できます)。 [詳細](#)

▶ 欠陥ダイアログの説明フィールドに表示されるテンプレートを入力します。

ユーザー変数	タイプ	フォールバック
redmine_user	文字列	
redmine_password	パスワー...	

ユーザー変数の追加

✓ 設定の保存

✗ キャンセル

- 個人設定

個人設定

注意: お使いの TestRail は外部認証を使用しています。ここでパスワードを変更しても、外部のパスワードは変更されません。不明な点がある場合は、TestRail 管理者に連絡してください。

ユーザー 設定 API キー

redmine_user

AS1061001

Your Redmine username

redmine_password

Your Redmine password

✓ 設定の保存

✗ キャンセル

動作イメージ

- テストランの結果登録時に、プッシュのリンクが有効となります。
- プッシュをクリックするとRedmineのチケット登録画面が表示され、チケットを登録することができます。

The screenshot displays the TestRail interface. At the top, a summary bar shows a pie chart with 0 Passed (0%), 0 Blocked (0%), 0 Retest (0%), and 3 Failed (25%) results. Below this, the '結果の追加' (Add Results) modal is open. It features a 'ステータス' (Status) dropdown set to 'Failed', a 'コメント' (Comments) text area, and a 'プッシュ' (Push) button. To the right, the '欠陥のプッシュ' (Push Defect) modal is also open, showing a 'Subject' field with the text 'Failed test: テストデータベースmmdb1を使用して差し込み印刷機能を確認する'. It includes dropdowns for 'Tracker' (Bug), 'Project' (TestRail), and 'Category'. The 'Description' field contains the same text as the subject, along with a URL. Below this are fields for 'バージョン' (Version), '経過時間' (Elapsed Time), 'Webブラウザ' (Web Browser) with 'Safari' and 'Edge' options, '最終回答日' (Last Answered Date) set to '2019-12-26', and a '状況' (Status) field. At the bottom of the push modal are '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

以上